

2009年6月3日

U23 世界選手権派遣最終選考についての報告

Crew JAPAN ヘッドコーチ
Diethelm Maxrath

5月27日～29日の3日間で行われ、さらに追加的に6月3日に行ったU23日本代表選考について報告いたします。なお、選手の名前について敬称を略させていただきますのでご了承ください。

まず、軽量級男子ダブルスカルについては、2つのシートに2人の最終選考有資格者という状況でした。エルゴ測定では、池田が自己ベストを8.1秒も短縮する進歩を見せたのに対し、矢地は足踏み状態という結果でした。シングルスカルでのシートレースでは二人は同レベルでありました。二人が組んだダブルスカルでの最初の2000mタイムトライアルはU23世界最高記録との比較およびLM2xとLM4-の比較という選考基準に照らしても十分なものではありませんでしたが、2回目のタイムトライアルでは、こちらの指示に基づく技術的な改善もありLM4-との比較で同水準の結果を示しました。コーチ間での議論の結果、軽量級男子スカルでの選手育成が急務であることを踏まえ、私は池田と矢地の二人を軽量級男子ダブルスカルのU23世界選手権代表とすることを推薦いたします。

軽量級男子スイープでは最大4シートの派遣に対して、5人の最終選考有資格者でした。エルゴテストでは、この5人のうち、田中、中野、出原の3人が自己ベストを更新しました。西村と三村はベスト更新まではいけませんでした。西村はこの5人の中で最高タイムを記録しました。出原がエルゴタイム最下位だったため、彼がシングルスカルに乗り、残りの4人が2杯のペアに乗る形でシートレースを行いました。三村、西村のペアがわずかに田中、中野のペアを上回りました。出原は、残念ながらシングルスカルでの結果でも他の4人の一角に食い込む結果を残すことはできませんでした。4人によるLM4-でのシート順を変えた2回の2000mタイムトライアルの結果を受け、コーチ陣は若手の育成の重要性に鑑みLM2-よりはやはりLM4-を派遣することが良いという結論に達しました。私は、田中、中野、西村、三村の4人を軽量級男子舵手無しフォアのU23世界選手権代表とすることを推薦いたします。

女子の軽量級については、7人の最終選考有資格者がLW2xの座に挑戦するという形になりました。エルゴテストでは、7人中5人が自己ベストを更新するという素晴らしい結果が出ました。渋谷はわずかに及びませんでした。唯一、首藤のみが十分な記録が出ず、この状況は、シングルスカルによるシートレースにも持ち越され、残念ながら、ダブルスカルによる選考という次のステップに進む前に今回の選考から首藤を除外することになりました。エルゴの結果としては、晦日の7分17秒6という記録は素晴ら

しいもので、20才でのこの記録は将来に大いに期待を抱かせるものです。彼女は軽量級選手権（Japan Cup）で注目されましたが、今回の選考でも、シングルスカルのシートレースで1位となりました。シングルスカルシートレース70%、エルゴ30%の割合でそれぞれの結果を計算したランキングでは、2位に谷井が入り、僅差で渋谷、福本が続くという結果となり、この4人に宮田、小笠原がさらに続くという状況でした。ダブルスカルによる2,000m タイムトライアルを上位1、2位のペア、3、4位のペア、5、6位のペアの3杯レースの形で2回実施しましたが、1回目は晦日、谷井の1、2位ペアが1艇身勝ったものの、2回目は1,500mまで晦日、谷井ペアと渋谷、福本ペアが伯仲のレースで、その後明らかに渋谷、福本ペアが出たところで、1,850m付近で福本がブイをたたいて切り込んでしまいレースとしての結果は晦日、谷井ペアが勝つという結果に終わりました。選考での谷井、渋谷、福本の僅差の結果を受けて、コーチ陣との協議を経て私は6月3日に追加の選考シートレースを行うことにしました。3番目のダブルスカル（小笠原、宮田）については、2レース合計で20秒以上の差が他の2クルーとは有ったため、6月3日の追加レースからは残念ながら除外することとなりました。

追加のシートレースは、4人を2つに分ける組み合わせ全てを行う形で、1,250mのダブルスカルタイムトライアルを3回行いました。結果は、3回のタイムトライアルの合計タイムが晦日（13' 46" 6）、渋谷（13' 47" 7）、谷井（13' 48" 0）、福本（13' 50" 0）という結果で、4人ともに極めて僅差、特に2位、3位の差は0.3秒差しかありませんでした。この4人は選考の過程で質の高さを証明し、U23カテゴリーでの世界レベルとの比較では最強の日本クルーであると認められます。この良好な実績と選手育成の観点から、また、今年からLW4xがU23世界選手権に新種目として加えられたこともあり、コーチ陣はLW2xの代わりにLW4xを送ることを検討していただくことを日本ボート協会に要請いたしました。この4人は、早稲田大学と明治安田生命所属で、皆、戸田で練習しています。所属団体の支援により、彼女たちは十分な時間の練習を一緒に行うことにより質量ともに十分な準備を行えると信じております。

このことは、男子の2クルーにも言えることです。チームとしてのレベルを上げることは絶対に必要であり、これは所属団体が選手に対してこの派遣のための練習、準備に第1番の優先順位を与えていただくことで可能となります。

U23世界選手権の準備に当たっては、我々の競技レベルを上げるために持ち得る全ての時間を使ってのトレーニングが必要となります。まだまだ我々の先は長いのです！

以上

（訳文の文責、朝倉直樹）